

栗原地域だより

第42号

平成31年3月1日発行

目次

- 平成27・29年災害復旧工事が完了しました p1
- 平成30年度栗原市畜産講演会が開催されました！ p2
- 宮城県地方税滞納整理機構「パネルツアー」
(パネル巡回展示)が開催されます p3
- 「平成30年度栗原地域食育推進研修会」を開催しました p4
- 看護職、介護職等を対象に「感染症対応研修会」を開催しました p5
- みやぎ県北高速幹線道路（築館工区）の進捗状況 p6
- 平成30年度 栗原市林産物の新たな出荷制限解除状況 p7
- 区画整理事業「上富地区」の権利者会議を開催しました p8
- 大目地区で区画整理工事を実施しています p9
- 「高収益作物の導入に向けた担い手育成研修会」を開催しました！ p10
- 【新施設情報】「栗駒山麓ジオパークビジターセンター」が
オープンします！ p11
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p12



平成27・29年災害復旧工事が完了しました

北部土木事務所栗原地域事務所

平成27年9月の関東・東北豪雨において管内196カ所の被災箇所のうち、関係機関等との調整から工事が遅れていた主要地方道栗駒岩出山線の熊川橋橋梁災害復旧工事については平成30年6月に、加えて三迫川の河川災害復旧箇所4カ所が平成31年1月に完成しました。

また、平成29年10月の台風21号で被災した8カ所（瀬峰川2カ所、三間堀川2カ所、金流川2カ所、三迫川1カ所、照越川1カ所）の復旧工事が平成31年1月に完成しました。これで当事務所管内の災害復旧工事については、全て完了しました。

工事期間中については、近隣住民等の方々には御理解、御協力を賜りましてありがとうございました。



瀬峰川 被災状況



瀬峰川 復旧完了

■お問い合わせ 河川砂防班 Tel : 0228-22-2193

平成30年度栗原市畜産講演会が開催されました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

平成30年度栗原市畜産講演会が、平成30年1月29日（火）に栗原市内の「この花さくや姫プラザ」において、栗原市農業振興協議会主催で開催され、約120人の生産者及び関係機関職員が参加されました。

本年度の講演会は、第57回東北大学農学カルチャー講座として東北大学及び公益財団法人翠生農学振興会との共同開催で行われました。

講演では、「おいしい牛肉の指標探索研究」と題して、東北大学大学院農学研究科家畜生産機能開発学寄附講座教授 鈴木啓一先生が講演されました。和牛の育種改良の成果、オレイン酸と遺伝、飼料成分に関する内容、牛肉の美味しさ研究について、生産者の方々にわかりやすく説明されるとともに、生産レベル及び研究レベルで、美味しい牛肉を生産するために取り組んでいく方向性を示され、大変有意義な時間となりました。

また、栗原地域の畜産に関する情報提供として、栗っこ農業協同組合営農部畜産センター肥育牛・養豚グループの佐々木亮平氏から、「栗原管内生産牛の枝肉成績と考察」と題して、過去5年間のデータから、栗原産仙台牛の特徴等についての考察が紹介されました。さらに、宮城県農業共済組合栗原支所家畜課の佐々木秀樹課長からは、家畜共済制度の改正の概要について、情報提供をいただきました。



東北大学 鈴木先生の講演



講演会に参加した生産者の方々

■お問い合わせ 畜産振興部畜産振興班 Tel : 0228-22-2487

宮城県地方税滞納整理機構「パネルツアー」(パネル巡回展示)が開催されます
北部県税事務所栗原地域事務所

「宮城県地方税滞納整理機構」では、平成30年度で設立10年目を迎えるにあたり、機構の成り立ちやこれまでの活動内容を紹介するパネル展示を、県庁、県内各県税事務所、市町村を巡回して開催しています。県栗原合同庁舎では、下記の日程で開催しますので、合同庁舎へお出かけの際には、ぜひ1階県民ロビーにてご覧ください。

- 1 展示期間 3月4日(月)～3月8日(金)
- 2 展示場所 宮城県栗原合同庁舎1階
県民ロビー
- 3 展示内容 宮城県地方税滞納整理機構の組織や活動内容の紹介などのパネルを掲示するほか、テレビで放映された活動の様子や、差押えに用いるタイヤロック機材などのいわゆる7つ道具も展示します。



展示例

【宮城県地方税滞納整理機構とは】

県と市町村が協働して地方税の税込確保を図るため、平成21年度に設置され、平成30年度からは登米市駐在も設置されました。県と市町村からの派遣職員により構成され、市町村税の滞納事案に対し集中的な財産調査と差押えなどの滞納処分を行っています。平成30年度は、栗原市を含む21市町村が参加しています。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/choutai/>

- お問い合わせ 宮城県地方税滞納整理機構(登米市駐在) Tel: 0220-41-0043
北部県税事務所栗原地域事務所税務班 Tel: 0228-22-2123

「平成30年度栗原地域食育推進研修会」を開催しました

北部保健福祉事務所栗原地域事務所

栗原地域の食育を推進するため、北部地方振興事務所栗原地域事務所・北部教育事務所・北部保健福祉事務所栗原地域事務所（以下、3公所）が共催し、平成31年1月31日（木）に地域で食育に取り組んでいる方を対象とした『平成30年度栗原地域食育推進研修会』を開催しました。

研修会では、会席料理丸勝 代表 阿部朗 様（一迫地区）をお招きし、地産地消にこだわってお店でお料理を提供する傍ら、栗原地域内外の方を対象として実践されている活動内容を御紹介いただきました。阿部様には御講演に加えて、地産地消の料理とその料理に使用している食材の展示や、試食用の「えごま豆腐」を準備いただきました。参加者は地域の食材について、五感を使って理解を深めることができ、「地場産野菜を多く活用することは、栗原全体が豊かになり、活気が出て、若い世代のやりがいにつながるのでは」「地元にも食材が豊富にあると改めて思った」などの感想をいただきました。

また、(株)オーヤラックス様よりノロウィルスによる食中毒の予防方法について情報提供をいただき、安全に食育活動を実践する上で大切なことを再確認することができました。

食育には生産・教育・健康など多くの要素が含まれます。栗原地域における食育が多面的に展開され更に充実するよう、3公所が連携した取組をこれからも推進していきます。



栗原地域の食材にこだわったお料理

■お問い合わせ 地域保健福祉部成人・高齢班 Tel：0228-22-2116

看護職、介護職等を対象に「感染症対応研修会」を開催しました

北部保健福祉事務所栗原地域事務所（栗原保健所）

例年12月から3月にかけて、インフルエンザや感染性胃腸炎等の感染症が流行します。特に高齢者が集団生活を送る介護保険施設等では、ひとたび感染症が発生すると、広がりやすい上、老化による免疫力の低下等により症状が重症化するリスクが高い状況にあります。

そこで、平成30年12月18日（火）に栗原地区地域医療対策委員会、栗原市立栗原中央病院、栗原市在宅医療・介護連携支援センター、栗原保健所が主催し、看護職、介護職等を対象とした「看護介護ケアで使う物品の管理～感染予防のトリセツ～」をテーマに感染症対応研修会を開催しました。

93人が参加した研修会では、仙台厚生病院 総合医療安全管理室 佐々木周人氏から、具体的な消毒方法や物品管理の工夫について説明していただきました。参加者からは、「加湿器、洗浄ボトル、マスク、歯ブラシの取扱いや、消毒方法等について具体的でわかりやすかった」、「自施設における取扱いの見直しをする」等、前向きな感想が寄せられました。



講師 仙台厚生病院 佐々木周人氏



熱心に聴講する参加者の皆様

■お問い合わせ 地域保健福祉部疾病対策班（栗原保健所） Tel：0228-22-2117

平成30年12月25日（火）に、みやぎ県北高速幹線道路（中田工区）が供用開始され、石巻、気仙沼方面への利便性がより向上し、全線開通に向け大きな弾みとなりました。

当管内の築館工区においては、橋梁等の構造物が既に完成しており、盛土工事も2月に完了し、現在舗装工事に取り組んでいる最中で、国道4号バイパスとの接続部に新しく信号や道路情報表示板が設置され、道路の完成形も徐々に見えて来ているところです。

これから、舗装完了後にガードレールや標識等の付属施設を整備し、交通管理者との安全確認を進めてまいります。

供用開始の際は、開通式等のイベントを予定しておりますので、工事の進捗状況等を考慮し、改めて御案内してまいります。

東北縦貫自動車道の交差部付近に計画されている、（仮称）栗原ICについても、現在、測量設計作業を進めており、1月には、国や自治体、経済団体で構成される「（仮称）栗原IC整備事業推進協議会」が設立され、今後、便益や安全性も含め検討を行っていく予定であり、計画がまとまり次第、説明会を開催し広報してまいります。



航空写真



信号機の設置状況



道路情報表示板の設置状況

■お問い合わせ 道路建設班 Tel：0228-22-2189

栗原市の林産物は、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故の影響を受け、「原木むきたけ」の出荷自粛と「原木しいたけ（露地）」、「くさそてつ（こごみ）」、「こしあぶら」、「たけのこ」、「たらのめ（野生）」、「野生きのこ」の出荷制限指示により、計7品目が出荷できない状況となりました。

このうち、平成29年度までに「原木むきたけ」、「原木しいたけ（露地）」の一部生産者で、「たけのこ」の一部地域（旧築館町、旧高清水町、旧瀬峰町、旧志波姫町、旧若柳町）での出荷自粛または出荷制限が解除されてきたところです。

平成30年度には、生産者の粘り強い取組、検体提供等の御協力のもと、

①「原木しいたけ（露地）」で2名

【既解除者1人分】（平成30年8月1日付けと平成30年12月28日付け）、

【新規解除者1人分】（平成30年9月10日付け）、

②「くさそてつ（こごみ）」が栗原市全域（平成30年11月13日付け）で、

③「たけのこ」では旧一迫町地区（平成31年2月14日付け）で

それぞれ出荷制限解除を実現することができました。

今後も県は、出荷制限が解除された品目については、生産者登録や出荷前検査の徹底等、必要な手続きを経て、安全・安心な生産物を消費者に届けるとともに、引き続き出荷自粛・制限されている品目の出荷自粛・制限の解除を目指して検査データの収集等を実施してまいります。

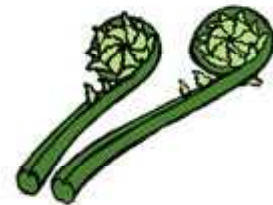
注：出荷をお考えの方は、事前に出荷者登録等の手続きが必要です。



原木しいたけ(露地)

【平成30年8月及び12月：既解除者1人分追加解除】

【平成30年9月：新規1人分解除】



くさそてつ(こごみ)

【平成30年11月：栗原市全域解除】



たけのこ

【平成31年2月：旧一迫町地区解除】

■お問い合わせ 林業振興部林業振興班 Tel：0228-22-2381

区画整理事業「上富地区」の権利者会議を開催しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

平成31年1月24日（木）に栗原市瀬峰農村環境改善センターにおいて、区画整理事業「上富地区」の権利者会議を開催しました。

上富地区は、昭和30年代の耕地整理事業で10a区画に整備されたもので、水路は用排水兼用の土水路で底高が浅く、水管理や維持補修に多大な労力を要してきました。また、農道は狭小で大型農業機械が進入できず、農業経営の近代化や省力化に支障をきたしていました。そこで、区画形状の拡大や用排水路の完全分離化を実現し、生産性の高い近代的な農業基盤を確立するため、平成21年度に区画整理事業上富地区として採択され、今年度に事業完了を迎えます。

当日は、総権利者数69人のうち67人（書面議決書による出席を含む）が出席し、全会一致で換地計画が可決されました。

上富地区の権利者会議開催のためにご尽力いただきました換地委員の方々や関係者の皆さまに、この場をお借りしまして感謝を申し上げます。

※権利者会議とは

工事前の土地に関する権利者（土地の所有者や使用者等）を集め、換地計画（新しい区画となった土地に対して、権利者を割り当てるための計画）を決定するための場です。関係権利者の2/3以上の出席で会議が成立し、出席者の2/3以上の賛成によって可決されます。



県の開会あいさつ



栗原市瀬峰総合支所長の祝辞



権利者会議の様子

■お問い合わせ 農業農村整備部管理調整班 Tel：0228-22-2398

大目地区で区画整理工事を実施しています

北部地方振興事務所栗原地域事務所

農地整備事業「大目地区」は、栗原市の東部（旧若柳町）に位置する約135haの水田地帯です。地区北側に迫川、南に落堀川が隣接し、本地区西側には若柳カントリーエレベータが設置されています。

本地区は平成29年度に事業が採択となり、今年度から区画整理工事をを行っています。農地整備事業では、農道や排水路等の農業施設の整備や農地の大区画化を行うことで、転作作物を作付出来る面積を拡大し、また農作業の効率化を図るものです。今年度は約6haの農地の区画整理工事を実施しており、現在は農地の整形や農業用水施設の設置等の工事が順調に進んでいます。工事にあたっては、地元農家さんと定期的に打合せを行い、情報共有を行いながら工事を進めており、地域の皆様の協力のもとスムーズな施工が実現できています。

今年度区画整理工事を実施している区域では、平成31年春に転作作物の作付を予定しています。より良い農地の実現に向けて、今後も工事の推進に努めてまいります。



大目地区 位置図



今年度工事箇所

■お問い合わせ 農業農村整備部農地整備第一班 Tel：0228-22-2401

「高収益作物の導入に向けた担い手育成研修会」を開催しました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

県は、農業経営の収益性を高めるため、農地整備事業の実施と合わせ野菜等の収益性に優れた高収益作物を導入するよう推進しています。栗原市内では、多くの地区で農地の大区画化や用排水施設の整備が進んでいるものの、稲作を主体とする担い手が多く、高収益作物の導入をどう進めるかが課題となっています。

そこで、平成31年2月6日（水）に担い手及び関係機関を対象に、高収益作物の導入及び組織育成に関する先進事例を学ぶため、「高収益作物の導入に向けた担い手育成研修会」を開催しました。102人が参加した研修会では、農事組合法人館島田生産組合の小野氏からは「法人化した経緯や周年労働体制の確立に向けた高収益作物（長ねぎ）の取り組み」について講演され、ヤンマー株式会社の大學氏からは「経営面積に応じた高収益作物の機械化体系」について説明いただきました。参加者は熱心に講演を聞き、研修会後のアンケートでは「担い手や推進委員、関係機関で意見交換を行い、高収益作物の導入に向け本格的に検討していきたい」等の前向きな意見が寄せられました。

当事務所は、今後も栗原管内農地整備地区における高収益作物の導入に向けた支援を行っていきます。



県の開会あいさつ



講師の熱弁



熱心に聞き入る参加者

■お問い合わせ 農業農村整備部管理調整班 Tel : 0228-22-2398

【新施設情報】「栗駒山麓ジオパークビジターセンター」がオープンします！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗駒山麓ジオパーク活動の拠点施設である「栗駒山麓ジオパークビジターセンター」が、平成31年4月1日（月）にオープンします。

展示室では、パネルや映像でジオパークの魅力を楽しむことができます。

第1展示室と第2展示室には、栗駒山から伊豆野までの40kmの航空写真を、床30mに表現します。

また、シアター展示室には、5m×10mのスクリーンが2面設置されており、8つのプロジェクターを使って4Kの画質で投影され、見学者が実際にその場所にいるような感覚を体験することができます。荒砥沢地すべりの様子の映像などを大迫力で体感することもできます。ぜひお立ち寄りください。

所在地 栗原市栗駒松倉東貴船5番地

担当 栗原市商工観光部ジオパーク推進室 0228-24-8836



第1展示室のイメージ図



シアター展示室のイメージ図

■お問い合わせ 地方振興部商工・振興班 Tel：0228-22-2195

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

北部地方振興事務所栗原地域事務所

当所は、12月10日から2月8日までの間に農林産物22点の放射能検査を行い、すべてが食品の基準値（100ベクレル/kg）以下でした。

このように、市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

なお、栗原市産のくさそてつ（ごごみ）は、平成30年11月13日に出荷制限が解除になりました。

栗原市産のこしあぶら、たらめ（野生）、野生きのこの3品目の山菜類については、引き続き出荷制限指示を受けており、市場や直売所等には出荷できません。

※原木しいたけ（露地）及びたけのこは出荷制限、原木ムキタケは出荷自粛が続いています。

ただし、これらは一部地域（登録生産者）のみ出荷できる状況です。

詳しくは林業振興部にお問い合わせください。

☆放射能検査の測定値が基準値以下であったもの（12/10～2/8）

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
かぶ（3点）	—	◎				
キャベツ（2点）	—	◎				
だいこん（3点）	—	◎				
チンゲンサイ	—	◎				
にんじん	—	◎				
ねぎ（5点）	—	◎				
はくさい（4点）	—	◎				
ほうれんそう	—	◎				
ゆきな	—	◎				
レタス	—	◎				

◎：基準値以下 —：検査未実施

※放射性セシウム濃度基準値	
食品群	基準値(1kgあたり)
飲料水	10ベクレル
乳児用食品	50ベクレル
牛乳	50ベクレル
一般食品	100ベクレル

詳しくは厚生労働省HPをご覧ください。

(http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

- お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437（農産物）
- 林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381（林産物）

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）
〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木5-1
Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284
e-mail：nk-khsinbk@pref.miyagi.lg.jp
ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>